

2005年1月28日

グローバル・コンパクトに参加

住友化学は、2005年1月1日、国際連合が提唱するグローバル・コンパクトに日本の化学会社として初めて参加いたしました。グローバル・コンパクトは世界の有力企業が人権、労働、環境、腐敗防止の4分野に関する10原則を遵守し、より良き地球市民をめざそうというプログラムで、1999年1月、ダボスで開催された世界経済フォーラムにおいて、アナン国連事務総長が提唱したものです。2005年1月1日現在、全世界で約1,800社（うち日本企業からは26社）が参加しています。

当社は企業の社会的責任（CSR）の遂行を経営の重要課題のひとつと位置付け、2004年秋にその基本方針を策定しました。現在、それに基づき、技術革新を通じてより有用な製品を環境や社会に望ましい形で提供しようとする取り組み（「サステナブルケミストリー」）の推進やグリーン調達の実施や世界保健機構（WHO）などが進めるマラリア防圧作戦への協力など、各方面で積極的な活動を検討、実施しているところです。

今回、グローバル・コンパクトに参加することにより、当社のこうしたCSRの取り組みを国内、海外のさまざまなステークホルダーのみなさまによりよくご理解いただくとともに、国連などの諸機関とのグローバルかつ幅広いネットワークを構築することで、当社のCSR活動の一層の充実を図ってまいります。

<グローバル・コンパクト 10 原則>

人権

- 原則 1. 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。
- 原則 2. 人権侵害に加担しない。

労働

- 原則 3. 組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
- 原則 4. あらゆる形態の強制労働を排除する。
- 原則 5. 児童労働を実効的に廃止する。
- 原則 6. 雇用と職業に関する差別を撤廃する。

環境

- 原則 7. 環境問題の予防的なアプローチを支持する。
- 原則 8. 環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。
- 原則 9. 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

腐敗防止

- 原則 10. 強要と賄賂を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

以上